

蔵出しお宝ニュース

— 第 6 号 —

三原市歴史民俗資料館では、本年度より所蔵資料の本格的な整理・展示のリニューアルに取り組んでいます。本紙では、資料館内で長らく眠っていた三原市ゆかりの貴重な資料の解説と、行事の案内・紹介などを随時行って参りたいと思っております。

2階ロビーの展示 リニューアル

今年は特別暑い夏であったように思いますが、気づけば黄昏時には資料館の外で秋の虫が鳴いています。この度、2階ロビーの展示をリニューアルいたしました。内容は蔵出しお宝ミニ展示で紹介した三原浅野家の袴、佐分利流槍術・信抜流居合剣法の古写真、私たちのやっさ踊り展で公開した関係資料などが中心です。さらに、先日見つかった江戸時代のあぶみ 籠かごも展示しています。籠は馬具の一種ですが、現在使われている籠とは形が異なり、古い絵巻物などに描かれている日本独特の姿の舌長籠したながあぶみです。発見された当初は錆と埃で残念な姿でしたが、資料館職員が専門的な手入れを行い、重厚な趣を取り戻しました。表側には金具の色味が沈んで少し見づらいですが、ぞうがん 象嵌で流水模様が見事に表現されています。足が乗る部分には朱漆うるしが塗られていますが、往時の所有者が乗馬で用いていたため、爪先とかかとの部分は漆が薄くなっていました。



資料館マメ知識として、古い金物はむやみにやすり 鑢すりや薬品などで磨いてはいけません。時代の鉄味が鑑賞のポイントとなりますので、金物の地の色がでるような手入れは資料の価値を著しく下げてしまいます。表面の赤錆を落とし、錆の進行を止め、黒光りさせるためには刀剣手入れ用の丁子油・椿油を布に含ませ、表面をふいてやるのが良いと思います。また、漆が塗ってあるものには油をひいてはいけません。曇りのある漆塗りは、お湯で濡らして硬く絞った布巾で拭くのが最良です。

文化の秋！ぜひ三原ゆかりの資料の鑑賞にお運びください。

(上) 2階ロビーの様子

(左) 江戸時代の籠

尾道市立向島中央小学校の皆さん 来館

9月11日（火）の午後、尾道市立向島中央小学校の第3学年・71名の皆さんが社会見学で資料館に来館されました。専門解説員の福井万千先生が古代の歴史の話を中心にお話しをされ、ナウマンゾウの本物の化石を前に、興味津々な様子でした。また、日本で2台しかないといわれるのぞきからくりも順番に見学されました。バスを仕立ててご遠方からの来館に職員もうれしくしています。

年に数回、小学生の皆さんの社会見学があります。歴史の勉強は6年生でいたしますので、5年生以下の皆さんには昭和期に使われていた生活用品の学習、身近に遺構が残っている三原城の解説などを行っています。先日は三原の歴史を学ぼうということで、夏休みを利用して小学校の先生がお運びくださいました。三原の歴史や文化を常に学ぶことができる資料館の存在は大変大きいものだと思います。ただ、残念ながら資料館をご存知ない方が多い事も事実です。今後も各行事に併せて資料館のPRを最大限にして参りたいと思いますので、お誘いあわせの上、お気軽に見学にお見えください。



尾道市立向島中央小学校の皆さん
1階ロビーにてあいさつ。



古代のコーナーで福井先生お話中の1コマ
皆さん集中しておられます！

おき どん しくん じゅう
置 床 春 秋



掛物 やまだ ほうこく 筆 七言絶句

（山田方谷は幕末期の備中松山藩の家老です。藩財政の立て直しに尽力しました。近年、山田方谷に関する書籍がたくさん発行されています。この漢詩は楠正成のことを詠んだものです。）

花入 魚籠
花 季のもの

発行 平成24年（2012）9月14日

〒723-0015 三原市円一町2丁目3-2

（三原市立中央図書館北隣）TEL 0848-62-5595

三原市歴史民俗資料館 山崎愛一郎 編集

※本冊子に掲載の写真などは、許可なく転用されないようお願い申し上げます。